



株式会社Jストリーム

URL: <http://www.stream.co.jp/>

〒105-0014 東京都港区芝2-5-6 芝256スクエアビル
TEL: 03-5765-7744

郵便はがき

105-8790

115

料金受取人払郵便

芝支店
承認

7525

差出有効期間
平成24年12月
31日迄

受取人
港区芝2-5-6
芝256スクエアビル
株式会社Jストリーム
株主アンケート係行



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月開催
 基準日 定時株主総会：毎年3月31日
 期末配当金：毎年3月31日
 中間配当金：毎年9月30日
 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (郵便物送付先) 〒183-8701
 東京都府中市日鋼町1番10
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-176-417

【インターネットホームページURL】 <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告の方法 電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
 当社ホームページURL <http://www.stream.co.jp/>

上場証券取引所 東京証券取引所 マザーズ市場

第15期 報告書

平成23年4月1日～平成24年3月31日

もっと素敵な伝え方を。



株式会社Jストリーム

証券コード：4308

代表取締役会長兼社長
白石 清

ネットワークと映像という 当社の核に注力しつつ、 「もっと素敵な伝え方を。」を 追求してまいります。

拝啓 平素は当社の経営に一方ならぬご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。このたび当社「第15期報告書」をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

第15期のインターネット業界においては、スマートフォンの急速な普及や、ソーシャルネットワーキングサービスの広がりとともに、各種コンテンツの提供や広告用途の利用が活発化しつつあります。こうした領域は、消費者向けサービスのビジネスモデルがまだ確立されておらず、不透明性が高い状況ではありますが、市場は拡大を続けています。

当社グループのビジネスにおいては、期初において、東日本大震災の発生に伴う需要の減退がありましたが、その後は広告や情報発信用途の動画配信需要の回復が見られました。スマートフォン関連案件の増加もあり、需要は活性化しております。

このような状況のもと、当社グループでは、動画変換ASPサービス「MobaVio」の対応端末を拡張したり、動画・楽曲配信ASPサービス「SecureCast Plus」を提供開始するなど、スマートフォン向けサービスを積極展開し、ビジネスニーズの吸収に取り組みました。また、一般企業が情報発信等でインターネットライブを行うニーズが増加していることに対応し、撮影スタジオ等の設備・運営体制の整備強化を進めました。

これらの活動の結果、当期の連結売上高は前期をわずかに下回ったものの、全社的な原価・経費削減策や連結子会社の合理化に伴う業績回復等の効果から、第12期以来の連結営業利益を計上することができました。しかしながら連結子会社の業績水準を鑑み、保有する株式について減損処理を実施した結果、当社個別の決算において多額の特別損失を計上する結果となりましたことは誠に遺憾であります。

このような状況に鑑み、期末配当については誠に遺憾ではありますが見送らせていただきました。株主の皆様のご期待を裏切る結果となりましたことを深くお詫び申し上げます。

第16期につきましては、競争環境は益々厳しくなりますが、当社グループの基本方針であるクロスデバイス対応を進めつつ、顧客企業のニーズに合わせたアプリケーションを提供することを通じて、市場競争力の向上と収益力の強化を進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、これからも変わらぬご理解とご厚情、そして一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成24年6月

<全般の状況>

当期におきましては、わが国の経済全般に関しては、東日本大震災からの復興の動きが見られるものの、電力需給の逼迫、欧州の債務危機を背景とした景気の減速や円高の進行、資源価格の高騰等が企業収益への悪影響を及ぼし、不透明性が増大いたしました。

こうした状況ではありますが、インターネット業界においては、スマートフォンの急速な普及や、ソーシャルネットワーキングサービスの広がりとともに、各種コンテンツの提供や広告用途の利用が活発化し、厳しい競争環境にはありますが市場は拡大を続けています。

こうした環境下、当社グループは、一層の普及が見込まれるスマートフォン対応の一環として、動画変換ASPサービス「MobaVio」のAndroid端末対応を開始したり、同サービスを他社のウェブサイト自動変換サービスと連携して提供する仕組みを構築するなど、ニーズにあわせたビジネス展開を進めました。また、マイクロソフト社が提供する著作権保護管理システムに対応したスマートフォン向けに、動画・楽曲配信ASPサービス「SecureCast Plus」を提供開始し、各社が提供するスマートフォン向け楽曲配信サービスの商用展開のサポートを開始しました。コンテンツ配信プラットフォーム「ブライコープ」も販売拡大を続け、企業のウェブサイト構築運用、配信ニーズに対応しました。

一般企業の情報発信等の用途でのネットライブ需要が拡大していることに対応し、撮影スタジオ等の設備・運営体制の整備強化を進めました。

また、西日本での配信能力の大幅拡大と災害時対応を目的とし、大阪に新配信センターを立ち上げました。これまで当社グループが展開してきた多くのデータセンター、ISP等における配信設備の分散配備については、その場所の多くは日本のインターネット構造上有利な首都圏に位置していましたが、今回の措置により、大容量化する配信データをより品質良く配信する基盤を確立するとともに、首都圏での有事への備えを充実させました。

特別損益においては、通常の範囲内での固定資産、ソフトウェアについて減損処理を実施いたしましたほか、事業シナジーが少なくなったと判断した関係会社の譲渡や、大口受注案件の終了に伴う費用を合わせ、66百万円の特別損失を計上いたしました。

以上の結果、当期の業績は、連結売上高5,291百万円（前期比0.4%減少）、連結営業利益219百万円（前期は連結営業損失13百万円）、連結経常利益242百万円（前期は連結経常利益24百万円）、連結当期純利益は159百万円（前期は連結当期純損失639百万円）となりました。

<事業別の状況>

(配信事業)

配信事業は、当社グループが保有する配信インフラ、ネットワーク、ソフトウェア資産を顧客に提供し、利用料を得る事業です。PC視聴を対象とするライブ及びオンデマンドストリーミング、ダウンロードサービス、携帯電話やスマートフォン向けの配信サービス、配信に伴って

利用される付随する各種アプリケーションのカスタマイズ等が含まれます。

当期においては、「ブライコープ」や「クロスデバイスライブ」など、ユーザーが映像配信を多様な用途に活用しやすくなるアプリケーションサービスの開発・販売を通じて受注拡大を図りました。市場が急拡大しているスマートフォン向けにも、ウェブサイトや動画の自動変換サービスやセキュアな配信環境を構築できるサービスを提供し、一般企業とコンテンツプロバイダー顧客の双方に対し積極的な営業アプローチを実施しました。講演会等のライブ配信に関する需要が年度を通じて旺盛であり、制作能力、現場対応能力の強化を図りつつ販売を拡大しました。

フィーチャーフォン関連の売上は、iチャネル向けASPサービスの値下げの影響が大きく低調な推移となりました。これらの結果、当事業の売上高は2,429百万円（前期比1.9%増）となりました。

(制作・システム開発事業)

制作・システム開発事業は、ウェブサイトやシステム、コンテンツ等の制作・開発を顧客から受託し、成果物を提供する事業です。配信する映像等コンテンツの制作や、コンテンツを視聴する受け皿となるウェブサイトの制作、顧客が一般消費者向けに展開するコンテンツ配信ビジネスや情報提供サイトのシステム開発等が含まれます。

当期においては、企業の映像を利用したウェブサイト構築やコンテンツの制作及びこれに関連する更新・運用、各種の映像制作などを行ってまいりました。年度前半は震災の影響による広告系の受注減少や、大型の情報発信サイトの顧客事情による縮小等があり低調に推移しましたが、その後企業の情報提供やコンテンツ配信用途のサイト制作案件を中心に需要は回復を見せ、スマートフォン向けを含め、コンテンツ配信用途のサイト制作案件が大口のものを含め増加傾向となりました。これらの結果、当事業の売上高は2,287百万円（前期比2.3%減）となりました。

(コンテンツビジネス事業)

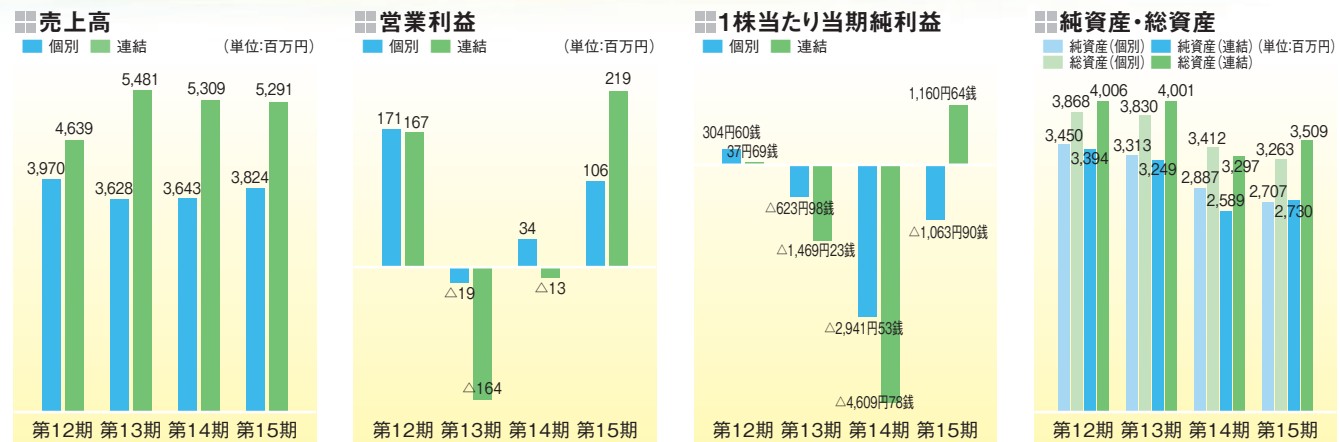
コンテンツビジネス事業は、コンテンツの権利所有者との契約に基づき、一般消費者をターゲットとするコンテンツプロバイダー事業です。コンテンツ配信ウェブサイトの運営受託や、コンテンツウェブサイトの展開等が含まれます。

当期においては、フィーチャーフォンからスマートフォンへの一般消費者の移動という市場のトレンドの中で、会員数の減少が見られるサイトが増加しました。同時に、スマートフォン会員獲得のためのサイト開発等の出費が増加しました。また、会員の端末変更による会員数の減少に伴ってサイト運営事業の維持が困難なサイトについては、事業構造の改善のための受託契約の見直し等の対応策を実施しました。当事業の売上高は515百万円（前期比6.7%減）となりました。

(その他)

その他の売上には、案件の進行に伴い随時発生する、上記3事業にあてはまらない売上が含まれます。当期におけるその他の売上高は58百万円となりました。

トピックス



次期の見通し

急速に普及が進むスマートフォンや各種携帯端末を初めとするネットワークデバイスへの対応を進めつつ、マーケティングを中心とした企業ユーザーのニーズにあった独自のサービスを展開することを通じて、単なる動画配信ではない新たな提供価値の創造に努めてまいります。

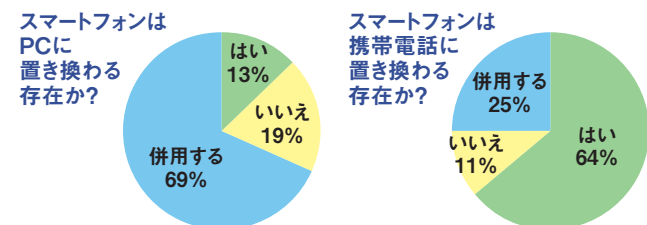
配信事業関連領域においては、クラウド事業者や海外のCDN事業者を中心に、比較的大規模なコンテンツ配信に際しての参入企業が増加するとともに、事業化を図る顧客からの価格要請が強まっています。また、無償で利用可能な動画配信プラットフォームの利用も一般化しております。こうした状況に対応するために、メディア企業や大規模コンテンツプロバイダーへの営業体制を強化してまいります。サービス面では、クロスデバイス配信に対応する体制を充実させるとともに、コンテンツ配信を効率よく収益化させたり、動画による販売促進効果を高めたりすることにつながる機能をもった動画配信のプラットフォームを提供することを通じてサービスの競争力向上に努めてまいります。

制作・システム開発事業関連領域においては、Web・映像・運用の三機能を内部に有する強みを活かしつつ、さらにグループの会社間での連携を強化し、提案力を向上させるとともに内製率の向上を通じた利益率の改善に取り組んでまいります。コンテンツビジネス事業関連領域においては、スマートフォンの急速な増加が見込まれることへの対応を進めつつ、有力なコンテンツの開拓、コンテンツホルダー顧客の開拓にあたります。

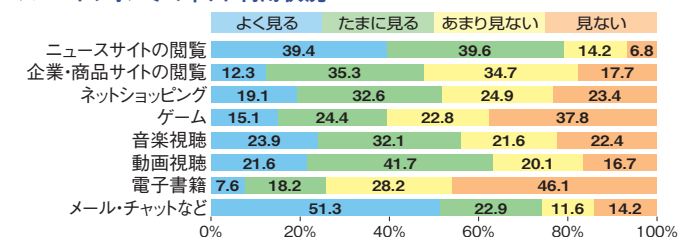
経営管理面におきましては、適切な統制の浸透と同時にグループ経営の効率化を図り、人材配置の流動化を通じて人材の有効活用を図ってまいります。また、通信費や電力費用等コスト削減についても、効率的な運用体制を整備してまいります。

【市場背景：スマートフォン関連の調査を実施しました】

2011年10月に、スマートフォン環境の広がりを背景としたネットユーザー調査を実施しました。スマートフォンは従来型の携帯電話を代替するが、PCとは併用するという図式が明確です。



スマートフォンでのネット利用状況



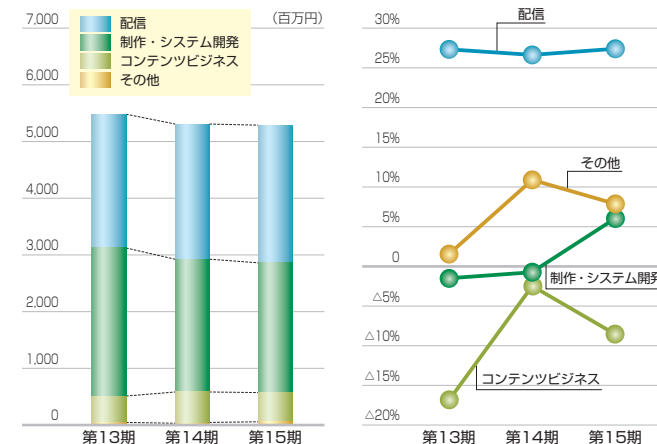
動画は音楽よりも利用が多く、今後の利用の広がりが期待できます。

携帯向け動画変換ASPサービス「MobaVio」のAndroid端末対応を開始

2008年より提供している「MobaVio」は、インターネット上の動画ファイルを携帯電話向けに自動変換・配信できるサービスです。2010年5月には対象端末をiPhone、iPod touchに拡大。2011年5月にはAndroid端末にも対応を広げ、メディアから企業のコーポレートサイトまで幅広いシーンでご利用いただいています。

フィーチャーフォン（従来型の携帯電話。いわゆる「ガラケー」）からスマートフォンへの移行期にある現在の需要に応えるサービスです。

事業セグメント別売上及び営業利益率の推移



Androidスマートフォン向け著作権保護機能付き音楽配信ASPサービス「SecureCast Plus」を提供開始

マイクロソフト社の著作権保護機能PlayReady®に対応したAndroidスマートフォン向け音楽配信ASPサービス、「SecureCast Plus」（セキュアキャスト・プラス）は、配信楽曲の暗号化機能、端末への視聴ライセンス発行機能をASPで提供し、スマートフォンでの楽曲配信サービスを、短時間で手間なく立ち上げることを可能にするサービスです。

楽曲の着信設定箇所の設定も可能で、導入以来20社を超える企業に利用が拡大しています。

【子会社同士が合併しました】

WEB制作を主業務としていた株式会社バンドワゴンと、WEB運用受託を主業務としていた株式会社BASIS PLANETが合併、株式会社Jクリエティブ ワークスとして2012年6月1日より営業を開始しました。合併により組織運営の一層の効率化を実現しつつ、Jストリームグループ内の主力制作会社として業務に邁進します。

【東日本大震災被災地支援企画に参加】

東日本大震災の被災地、岩手県の小学生たちへのスポーツ機会の提供を通じた地域の子供支援企画としてのチャリティフットサル大会「Dragon Cup」に参加しました。

参加費用等は小学生向けのフットサル教室で子供たちに配布されるTシャツとボールの購入費に充てられました。



【その他のトピックス】

平成22年11月～平成23年4月、平成23年6月～平成23年11月、平成23年12月～平成24年6月、自己株式の購入を実施しました。

連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当 期 (平成24年3月31日現在)	前 期 (平成23年3月31日現在)	科 目	当 期 (平成24年3月31日現在)	前 期 (平成23年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	2,706,916	2,505,292	流動負債	645,722	555,384
現金及び預金	735,077	639,561	買掛金	4,315	32,863
受取手形及び売掛金	995,221	984,467	未払金	397,054	355,989
商品	6,416	4,969	リース債務	46,337	30,892
仕掛品	27,199	21,704	未払法人税等	27,994	21,290
預け金	800,000	730,000	未払消費税等	36,403	16,651
繰延税金資産	33,848	7,084	賞与引当金	34,256	20,647
その他	109,638	123,142	その他	99,359	32,193
貸倒引当金	△ 485	△ 5,637	固定負債	133,116	152,251
固定資産	802,447	792,185	リース債務	59,468	57,510
有形固定資産	288,557	279,393	退職給付引当金	15,754	11,561
建物	98,755	103,284	資産除去債務	17,485	17,118
機械装置	—	956	負ののれん	39,596	65,994
器具備品	96,662	93,190	その他	811	67
リース資産	93,139	81,961	負債合計	778,838	707,636
無形固定資産	323,303	298,913	(純資産の部)		
のれん	26,314	39,730	株主資本	2,583,731	2,457,775
ソフトウェア	280,517	243,401	資本金	2,182,379	2,182,379
その他	16,471	15,780	資本剰余金	772,584	1,268,458
投資その他の資産	190,586	213,879	利益剰余金	△ 270,569	△ 926,094
投資有価証券	82,536	90,237	自己株式	△ 100,663	△ 66,968
敷金	84,648	84,515	その他の包括利益累計額	△ 154	△ 87
繰延税金資産	3,023	4,677	その他の有価証券評価差額金	△ 154	△ 87
その他	40,241	50,227	少数株主持分	146,949	132,152
貸倒引当金	△ 19,863	△ 15,778	純資産合計	2,730,526	2,589,841
資産合計	3,509,364	3,297,478	負債純資産合計	3,509,364	3,297,478

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当 期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	前 期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	科 目	当 期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	前 期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)
売上高	5,291,159	5,309,838	特別利益	3,042	21,929
売上原価	3,441,906	3,326,242	投資有価証券売却益	42	—
売上総利益	1,849,253	1,983,595	受取和解金	3,000	16,500
販売費及び一般管理費	1,629,644	1,997,251	その他	—	5,429
営業利益	219,608	△ 13,655	特別損失	66,909	663,353
営業外収益	45,767	51,180	固定資産除却損	26,822	19,599
受取利息	7,673	8,840	投資有価証券売却損	14,795	—
業務受託手数料	5,366	5,366	投資有価証券評価損	—	178,676
負ののれん償却額	26,397	26,397	減損損失	10,705	398,574
その他	6,330	10,576	事業撤退損失	13,052	—
営業外費用	22,677	13,474	事務所移転費用	—	40,731
支払利息	2,746	3,493	資産除去債務会計基準の 適用に伴う影響額	—	8,615
組合分配損失	3,556	7,819	その他	1,533	17,155
自己株式取得費用	8,127	2,150	税金等調整前当期純利益	178,831	△ 617,373
その他	2,865	11	法人税、住民税及び事業税	29,493	18,452
経常利益	242,698	24,050	法人税等調整額	△ 25,109	7,226
			少数株主損益調整前当期純利益	174,447	△ 643,052
			少数株主利益	14,796	△ 3,072
			当期純利益	159,650	△ 639,979

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

当期 (平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位：千円)

株主資本		株主資本合計		少数株主持分	
資本金		当期首残高	2,457,775	当期首残高	132,152
当期首残高	2,182,379	当期変動額	—	当期変動額	—
当期変動額	—	欠損補填	—	株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	14,796
当期変動額合計	—	当期純利益	159,650	当期変動額合計	14,796
資本金	2,182,379	自己株式の取得	△33,695	当期変動額合計	146,949
資本剰余金	—	当期変動額合計	125,955	純資産合計	—
当期首残高	1,268,458	当期首残高	2,583,731	当期首残高	2,589,841
当期変動額	—	その他の包括利益累計額	△87	当期変動額	—
欠損補填	△495,873	その他の有価証券評価差額金	△67	欠損補填	—
当期変動額合計	△495,873	当期首残高	△87	当期純利益	159,650
利益剰余金	772,584	当期変動額	△67	自己株式の取得	△33,695
当期首残高	△926,094	株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△67	株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	14,729
当期変動額	495,873	当期変動額合計	△154	当期変動額合計	140,684
欠損補填	159,650	当期首残高	△87	当期変動額合計	2,730,526
当期純利益	655,524	その他の包括利益累計額合計	△87	当期首残高	—
当期変動額合計	△270,569	当期首残高	△87	当期変動額	—
自己株式	—	株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△67	欠損補填	—
当期首残高	△66,968	当期変動額	△67	当期純利益	159,650
当期変動額	—	自己株式の取得	△33,695	自己株式の取得	△33,695
当期変動額合計	△33,695	当期変動額合計	△33,695	株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	14,729
資本金	2,182,379	当期首残高	△100,663	当期変動額合計	140,684
資本剰余金	—	当期変動額	△100,663	当期変動額合計	2,730,526

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別財務諸表

貸借対照表

科 目	(単位：千円)		科 目	(単位：千円)	
	当 期 (平成24年3月31日現在)	前 期 (平成23年3月31日現在)		当 期 (平成24年3月31日現在)	前 期 (平成23年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	1,861,063	1,774,078	流動負債	497,900	457,788
現金及び預金	385,743	273,361	買掛金	25	189
受取手形	13,977	43,045	リース債務	35,240	26,332
売掛金	629,925	586,496	未払金	357,457	361,700
商品	2,000	—	未払費用	28,723	33,115
仕掛品	9,068	12,897	未払法人税等	8,191	8,730
貯蔵品	202	—	未払消費税等	18,682	291
前払費用	55,285	57,718	前受金	15,988	8,658
繰延税金資産	26,479	6,219	預り金	23,657	9,672
預け金	630,000	630,000	賞与引当金	6,215	5,430
短期貸付金	—	62,333	その他	3,718	3,668
立替金	66,856	62,791	固定負債	57,722	66,934
その他	41,868	44,615	リース債務	41,695	51,238
貸倒引当金	△ 343	△ 5,400	資産除去債務	16,026	15,695
固定資産	1,402,362	1,638,554	負債合計	555,622	524,723
有形固定資産	229,235	242,283	(純資産の部)		
建物	77,602	82,979	株主資本	2,707,956	2,887,996
機械装置	—	956	資本金	2,182,379	2,182,379
器具備品	82,979	86,233	資本剰余金	772,584	1,268,458
リース資産	68,652	72,113	資本準備金	—	668,458
無形固定資産	290,434	210,840	その他資本剰余金	772,584	600,000
商標権	7,458	9,546	利益剰余金	△ 146,343	△ 495,873
ソフトウェア	277,779	196,097	自己株式	△ 100,663	△ 66,968
電話加入権	5,196	5,196	評価・換算差額等	△ 154	△ 87
投資その他の資産	882,692	1,185,429	その他有価証券評価差額金	△ 154	△ 87
投資有価証券	82,536	90,237	純資産合計	2,707,802	2,887,909
関係会社株式	696,010	975,006	負債純資産合計	3,263,425	3,412,632
従業員長期貸付金	—	5,925			
関係会社長期貸付金	—	3,400			
破産更生債権	4,095	—			
長期前払費用	20,201	25,559			
繰延税金資産	3,306	4,663			
敷金	80,638	80,638			
貸倒引当金	△ 4,095	—			
資産合計	3,263,425	3,412,632			

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

Non-Consolidated Financial Statements

損益計算書

科 目	(単位：千円)	
	当 期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	前 期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)
売上高	3,824,993	3,643,577
売上原価	2,431,030	2,191,583
売上総利益	1,393,963	1,451,994
販売費及び一般管理費	1,287,470	1,417,688
営業利益	106,492	34,306
営業外収益	78,579	42,441
受取利息	6,162	7,277
為替差益	—	1,273
業務受託手数料	20,200	25,458
受取配当金	45,000	—
雑収入	—	3,526
その他	7,216	4,906
営業外費用	21,179	12,631
支払利息	2,126	2,661
貸倒損失	5,381	—
組合分配損失	3,556	7,819
自己株式取得費用	8,127	2,150
その他	1,986	—
経常利益	163,893	64,116
特別利益	3,042	18,262
投資有価証券売却益	42	697
受取和解金	3,000	16,500
その他	—	1,064
特別損失	328,403	479,406
子会社株式評価損	278,996	—
事業撤退損失	13,052	—
固定資産除却損	26,450	5,827
投資有価証券評価損	—	172,600
減損損失	9,903	286,899
その他	—	14,079
税引前当期純利益	△ 161,467	△ 397,027
法人税、住民税及び事業税	3,780	3,590
法人税等調整額	△ 18,903	7,758
当期純利益	△ 146,343	△ 408,376

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別財務諸表

Non-Consolidated Financial Statements

株主資本等変動計算書 当期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）

(単位：千円)

株主資本	利益剰余金	評価・換算差額等	純資産合計
資本金	繰越利益剰余金	その他有価証券評価差額金	当期首残高
当期首残高	△495,873	△87	△87
当期変動額	当期変動額	株主資本以外の項目の	当期変動額(純額)
当期変動額合計	△146,343	△67	△67
当期末残高	△146,343	△154	△154
資本剰余金	利益剰余金合計	評価・換算差額等合計	当期首残高
資本準備金	△495,873	△87	△87
当期首残高	△146,343	△67	△67
資本準備金の取崩	△668,458	△67	△67
当期変動額	△668,458	△154	△154
当期変動額合計	△146,343	△87	△87
当期末残高	△146,343	△67	△67
その他資本剰余金	△146,343	△67	△67
当期首残高	495,873	△67	△67
当期変動額	349,530	△154	△154
当期変動額合計	△146,343	△87	△87
当期末残高	△146,343	△67	△67
資本準備金の取崩	自己株式	純資産合計	当期首残高
欠損補填	△66,968	2,887,909	2,887,909
当期変動額合計	△33,695	△146,343	△146,343
当期末残高	△33,695	△180,106	△180,106
資本剰余金合計	△33,695	2,707,802	2,707,802
当期首残高	△180,039		
当期変動額	△772,584		
当期変動額合計	△772,584		
当期末残高			

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要 (平成24年6月28日現在)

Company Data

社名 株式会社Jストリーム
 英文社名 J-Stream, Inc.
 設立年月日 平成9年5月29日
 本社所在地 〒105-0014 東京都港区芝2-5-6
 芝256スクエアビル
 西日本営業所 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島2-1-31
 京阪堂島ビル5階

URL <http://www.stream.co.jp/>
 主要株主 トランス・コスモス株式会社
 株式会社NTTPCコミュニケーションズ
 KDDI株式会社
 リアルネットワークス・インク(米国)

事業内容 (1)インターネットを利用した画像データ・音声データの提供サービス
 (2)インターネットを利用した会員情報管理、商取引、決済処理に関する業務の受託
 (3)テレビ番組、音声・映像ソフト等のデジタルコンテンツ、出版物の企画・制作及び販売業
 (4)コンピュータに関するハードウェア・ソフトウェアの開発・販売
 (5)インターネットを利用した各種情報提供サービス
 (6)インターネットに関する技術指導・コンサルテーション
 (7)広告代理店業

取締役及び監査役

代表取締役会長兼社長	白石清
代表取締役副社長	石松俊雄
取締役	保住博史
取締役	本田仁志
取締役	井上博文
取締役	伊藤賢俊
取締役	山崎雅人
取締役	小川修示
常勤監査役	岩木六馬
監査役	諏訪原敦彦
監査役	森下高志
監査役	馬場正身

連結子会社 株式会社アップアローズ(東京都港区)
 株式会社エンターメディア(東京都目黒区)
 クロスコ株式会社(東京都港区)
 株式会社CO3(東京都港区)
 株式会社Jクリエイティブワークス(東京都港区)

【株主の皆様へアンケート】について

株主の皆様がお持ちの当社に対するご意見、ご要望などを賜りたく、アンケートをつけさせていただきました。今後の経営に反映させていきたいと考えております。選択項目以外にも皆様のご意見を忌憚なくお寄せ下さい。

株主の皆様へアンケート

- 1) 当社の株式を購入されたのはいつ頃でしょうか
平成()年
- 2) 当社の株式を購入された理由は何でしょうか(複数回答可)
1.安全性 2.企業の将来性 3.市場の将来性 4.収益性 5.独自性
6.事業内容 7.市場競争力 8.経営方針 9.証券会社の勧誘
10.その他()
- 3) 当社に対して今後どのようなことを望まれますか(複数回答可)
1.積極的な事業拡大 2.安定的な経営 3.株主への利益還元 4.わかりやすい情報提供 5.その他(上記項目についての具体案をお書きいただいてもかまいません)()
- 4) 投資判断をされる際の情報収集手段は何ですか(複数回答可)
1.証券会社の担当者 2.当社ウェブサイト 3.各種インターネットポータル
4.オンライン証券などのウェブサイト 5.その他情報ウェブサイト 6.雑誌
7.書籍 8.新聞(一般) 9.新聞(専門紙) 10.その他()
- 5) 当社の情報提供としてどのようなものを希望されますか(複数回答可)
1.投資家向け説明会 2.ウェブサイト充実 3.株主通信等の通信紙/誌
4.メールマガジン 5.IR広告 6.その他()

その他ご意見・ご要望などございましたらお聞かせ下さい。

ご協力ありがとうございました。

株式の状況 (平成24年3月31日)

Stock Information

- (1) 発行可能株式総数 550,000株
 (2) 発行済株式の総数 140,287株
 (内 自己株式数 3,302株)
 (3) 株主数 4,053名

(4) 大株主

株主名	持株数	出資比率
	株	%
トランス・コスモス株式会社	62,562	45.7
株式会社NTTPCコミュニケーションズ	20,652	15.1
KDDI株式会社	15,228	11.1
リアルネットワークス・インク	14,820	10.8
Jストリーム従業員持株会	495	0.4
瀬川吉夫	416	0.3
橋本久雄	390	0.3
小森昭彦	369	0.3
平川雅祥	300	0.2
石松俊雄	275	0.2